

府立春日丘高等学校

令和5年度 学校教育自己診断（分析）

※ 以下、特に説明の無い数値は肯定的な意見の割合〔単位%〕である。

※ （ ）内は R4 年度数値。

【生徒】

本校を選んだ理由として最も高いのが、「自由な校風だから」が 45.7（39.5）である。1 年生では、「学力的に妥当」が昨年度より 6.9 ポイント減少していることが特徴である。

授業については、「自分の学力向上に役立っている。」が 91.3（88.5）。

進路指導については、「将来について考える機会がある。」が 95.5（94.7）であり、総合的な探究の時間を中心としたキャリアデザインの取組みの成果であると考えている。

全体的に肯定的な意見等の割合は増加しており、「学校へ行くのが楽しい」は 94.9（94）や、「充実した藤蔭祭が工夫されている。」97.6（96）などを見ても、コロナ禍の影響が減少し、行事や部活動の中で充実感が定着してきていると考えている。

【保護者】

「進路指導について」76.2（74）が増加している一方で、進路に関する情報の伝わり方」66.8（67.1）は減少しており、取組みの検証が必要である。

【その他】

教育相談体制については、生徒の「担任以外に気軽に相談できる先生がいる」が 68.4（70.5）は減少し、「困っていることがあれば真剣に対応してくれる」が 92.8（92.5）は増加している。

保護者の「連絡、相談したい場合に、電話や懇談などの場を設定している。」が 74（71.9）、「学校の情報提供」86.2（85.9）、「保護者と学校との意思疎通」84.6（83.2）が増加しているほか、「スクールカウンセラーによるカウンセリング等についての認知」について「知らない」との回答は、40.9（47.0）は減少しており、情報発信について改善の傾向にあることが窺えるが、引き続き取組みを充実していきたい。

生徒 1 人 1 台端末については、「クロームブックは役立っているか」の問いに対して、生徒 57（56.1）、保護者では、72.8（68）と、端末の活用が定着してきていることが窺える。今年度リーディング GIGA ハイスクールの指定を受け、活用が進んでいるが、今後より一層研究を継続していきたいと考えている。